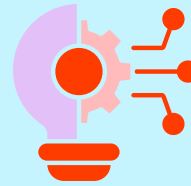


オープンデータへの道筋

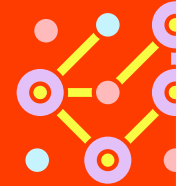
データサイロは研究とイノベーションの妨げとなり、AIモデルのトレーニングに必要なデータの増加に伴い、ますます厄介なものとなっています。



オープンデータは、誰もが自由にアクセスして利用することができ、イノベーションの新たな道筋、より高い信頼性、信頼の向上につながります。



ソフトウェアと比較したデータのユニークな特性（メンテナンス、品質、プライバシー、ライセンスの多様性など）により、そのオープン化は困難な課題となっています。

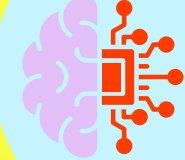


データセットのクリーニング、標準化、維持には、多大な人的資源が必要です。

データセットの維持にかかる金銭的およびリソースのコストは、データの質とアクセスコストの間にトレードオフを生み出します。



標準化が不十分なためデータセットが使用できないものの、AIツールは非構造化データをより適切に管理する機会を提供しています。



データプライバシーに関する懸念は、GDPRなどの規制への準拠から生じ、リスク回避の風潮を生み出しています。



データを独自に管理することで、企業はコンプライアンスと品質に関する確実性を高め、競争優位性を失う恐れを軽減することができます。



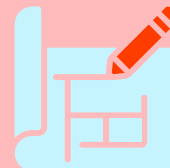
「セミオープン」データプラットフォームでは、コラボレーション参加者が競争優位性を維持しながら、ベストプラクティスやその他の競争前のデータを共有することができます。



Overture Maps Foundationは、データ所有者やサービスプロバイダーが活用できる、オープンで、プラットフォームに依存しない、標準化された地理空間データプラットフォームを構築しています。



オープンデータインフラストラクチャの構築には、現在のデータ収集および共有プロセスの見直しが必要です。



オープンデータでは、競争前のレイヤーにおけるコラボレーションを奨励すると同時に、ガバナンス構造に抑制と均衡を保つ仕組みを組み込む必要があります。

